

令和4年度 KS小学校 情報活用能力育成 全体計画

<児童の実態>
 ・Springin, PIECE、ロボホン等によるプログラミングの経験がある。
 ・意欲的にプログラミングに取り組む姿が見られるが、個別の支援が必要な児童もいる。

<学校の教育目標>
 夢に向かい、主体的に学び、心豊かでたくましく
 生きる児童の育成

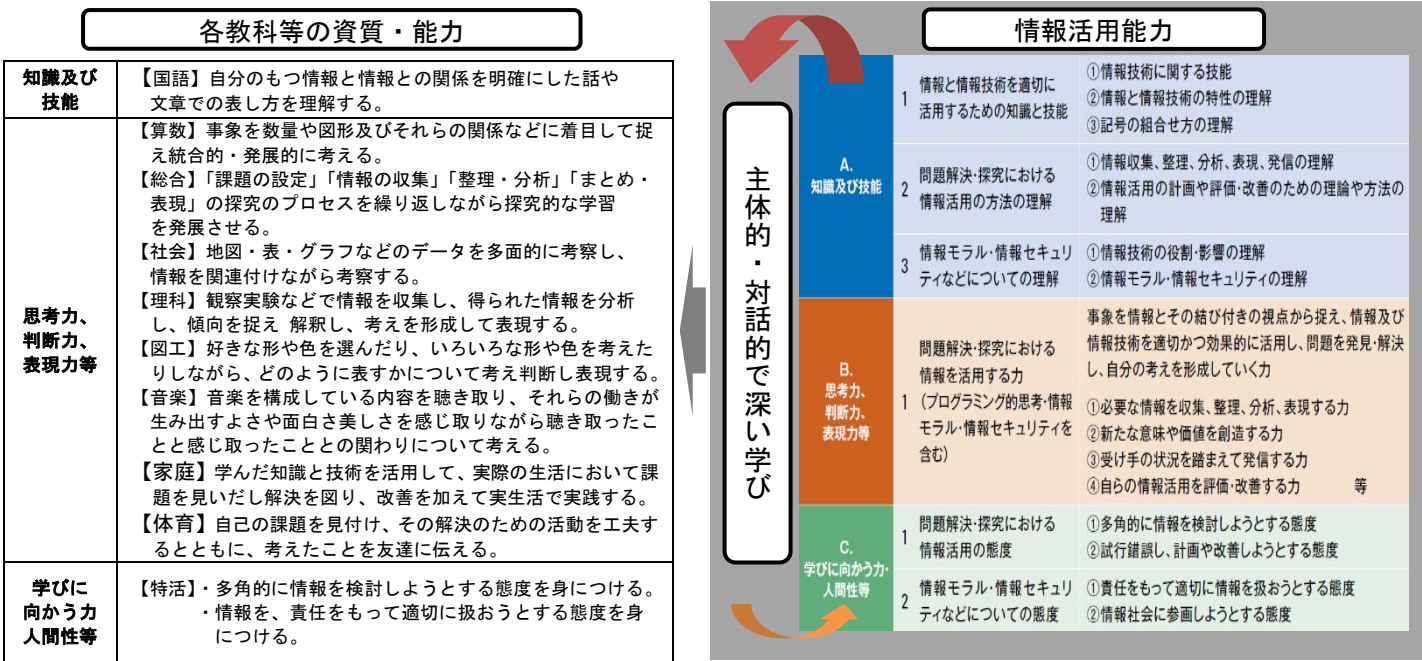
<地域の実態>
 ・学校に対する関心は高く、とても協力的である。
 ・ICTを活用した授業・学力向上への期待度が高い。

<保護者・地域の願い>
 ・地域に誇りを持ち、大切に育てる子ども
 ・何にでもあきらめずに、積極的に挑戦する子ども
 ・自分の将来に自信や希望がもてる子ども

<情報活用能力育成の目標>
 情報モラルの指導を図りながら、各教科等の学習を通して、コンピュータを扱う基本的操作を習得させ、情報活用能力の育成を図る。

<教師の願い>
 ・筋道を立てて論理的に考える児童の育成
 ・基礎基本の力を基に、活用能力を発揮できる児童の育成
 ・情報や情報技術を適切安全に活用していくためのモラルを身に付けた児童の育成

<情報活用能力と各教科等で育成を目指す資質・能力の関係>



<情報活用能力育成のための想定される学習内容と各教科等の学習内容の関係>

	想定される学習内容	各教科等の学習内容
基本的な操作等	・タイピングによる日本語入力 ・映像の撮影 ・インターネットによる検索をして調べる	【生活】PC・タブレットにふれ、基本的な機器の用語・使い方を知る。 【総合】タイピングソフトを活用し、ローマ字入力への習熟を図る。 【国語】ローマ字入力によって用いて発表資料などを書く。 【総合】インターネット検索の方法を知る。
問題解決・探究における情報活用	・課題を設定(発見)する ・情報を収集する ・整理する、分析(比較、処理、統計)する ・まとめる、表現する(形成、発信、伝達、創造) ・振り返る、改善する	【算数】異なる複数の事柄のある観点から捉え、それらに共通点を見いだす。 【社会】思考過程を意識しながら協働的に資料を整理、解釈を行い考察の範囲を広げる。 【理科】知識や実験を組み合わせながら情報収集をし、目的に応じた表やグラフ等を適切に選択・活用し、情報を整理する力を身につける。 【総合】インターネット上の情報の信憑性を吟味する能力を身につける。
プログラミング	・記号の組合せをより意図した活動に近づくために論理的に考えていく	【算数】プログラミングの思考と論理的思考を関連付ける活動を位置付ける。 【理科】身の回りの道具に目を向け、プログラミングを体験することで、仕組みを体験的に学習したり、論理的思考を身につけたりする。 【音楽】様々なリズム・パターンを組み合わせる音楽をつくることについて、プログラミングを通して学習する。
情報モラル・情報セキュリティ	・情報社会や情報手段の特性を理解し、安全かつ適切に情報手段を使う ・自他の個人情報の重要性を知り、ID やパスワードを適切に使う	【道徳】SNS等に起因する心のすれ違いなどから「親切」や「思いやり」・「礼儀」について、また、インターネット上で法やきまりを守れずに引き起こされた出来事などから「規則の尊重」について自己のあり方を考える。 【学活】情報モラルの大半が日常モラルであることを理解させ、それに情報技術の基本的な特性を理解させることで問題の本質を見抜いて主体的に解決できる力を身につける。

<外部人材等との連携>

- ICT 支援員：環境整備、授業支援、HP 協力、トラブル対応
- K町教育委員会学校教育課 ICT 担当：環境整備
- 福岡県教育センター・教育事務所：指導助言

<活用する情報機器や学習支援アプリ等>

- ・タブレット (Main/chromebook : Google Education のアプリ、タイピングアプリ (キーボー島)、タブレットドリル (算数)、各コンテンツの問題、MetaMoji) (Sub /Dynabook : Study Note10)